

昭和 58 年度

# 秋田県環境技術センター年報

第 11 号



秋田県環境技術センター

## は じ め に

秋田県環境技術センター（旧称公害技術センター）が昭和45年県工業試験場の一角で発足して以来今年で15年になる。

この間に、環境行政は直接的な産業公害規制から住民の快適な環境作りを目標とした環境保全型社会の形成へとその基本理念を発展させた。

当センターでは、この情勢に即応すべく、業務内容の質的发展を求めて所員一同鋭意努力して参りました。結果的には、試行錯誤の連続で、その歩みは遅々としております。

しかし、本県の代表的な閉鎖水域である八郎潟調整池の汚濁調査、都市河川調査、生活雑排水処理法の研究、さらにスパイクタイヤ問題、酸性雨調査と内容を一步一步充実させております。

ここに、昭和58年度の業務実績をとりまとめ、年報第11号として、皆様の許にお届けします。御高覧のうえ、御批判、御指導下さるようお願い致しますとともに、皆様におかれまして、本年報が何らかの御参考に御利用いただければ幸甚に存じます。

昭和59年12月

秋田県環境技術センター

所 長 三 浦 竹 治 郎